

# 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校 種	教 科	教科用図書目録に記載された教科書総数	本報告書の総 ページ数
小学校	生活	8	7

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東 書	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】</p> <p>(上) ショウリョウバッタ オンブバッタ コオロギ</p> <p>(下) ダンゴムシ カエル ザリガニ アゲハ</p> <hr/> <p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】</p> <p>○商店・交番・畑・図書館で働く人，ゲートボールの活動をしている人，ザリガニ釣りを教えてくれる町の人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <hr/> <p>【四季の変化を対比させたページ】</p> <p>○公園 〔上〕 36-39 (夏) →62-65 (秋) →92-95 (冬)</p> <p>○季節の掲示 〔上〕 108-109</p> <p>○季節のくらし 〔下〕 6-7 (春) →44-45 (夏) →64-65 (秋) →86-87 (冬)</p> <p>○季節の図鑑 〔ポケットずかん〕 2-3 (春) →4-5 (夏) →6-7 (秋) →8 (冬)</p> <hr/> <p>【相互評価・他者評価の例】</p> <p>○「大きくなった自分のことをしらべよう」で，お世話になった保育園の先生からの評価を，手紙で掲載している。</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】</p> <p>○単元名「すたあとぶつく」</p> <p>○1ページの口絵</p> <p>・2名の児童が通学路に立っている安全ボランティアに笑顔であいさつをしている。</p> <p>・「ときどきわくわく1ねんせい」の記載</p> <p>・保護者の皆様への記載</p> <hr/> <p>【栽培単元のワークシートの例示】</p> <p>〈上〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○罫線なし</p> <p>・種の絵</p> <p>・児童の思い1行</p> <p>〈下〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○横書き罫線5行</p> <p>・ミニトマトの苗と自分の絵</p> <p>・茎や葉の観察と児童の栽培への思いの文章5行</p>	<p>【総ページ数，上下巻の構成】</p> <p>上巻 117 ページ (10 単元)</p> <p>下巻 121 ページ (9 単元)</p> <p>○季節の流れを軸に，2年間の活動を19の単元で構成している。上巻は「学校」「通学路」「家庭」「身近な公園」を主たる活動の場とし，下巻は「身近な地域」へと活動の場を広げるように配列している。</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】</p> <p>○キャラクターが，児童に思考や活動を促したり安全への注意を喚起したりしている。</p> <p>○「ポケットずかん」マークで，ポケットずかんの活用を，「べんりてちょう」マークで，巻末資料の該当ページを参照するようにそれぞれ促している。</p> <p>○ページの大きさを変える等の工夫がある。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】</p> <p>○不思議に思ったことや聞いてみたいことなどを地域の人（和菓子店で働く人，畑で働く人など）にインタビューしたり教えてもらったりしている。</p> <p>○地域の人を招いて，発表会を開いている。</p> <p>○作成したポスターや新聞を持って町に出かけ，伝え合う活動をしている。</p>

	<p>【生活のきまりや安全についての記述等】</p> <p>○「やくそく」コーナーを設け、活動場面で必要なきまりや安全に関する情報を図や写真で示している。</p> <p>○上巻末及び下巻末「べんりてちょう」内に道具の安全な使い方、防災、防犯、交通安全、衛生、健康、乗り物の乗り方について掲載している。</p>				
<p>4 大日本</p>	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】</p> <p>(上) オンブバッタ コオロギ テントウムシ (下) ダンゴムシ カタツムリ やご ザリガニ</p> <hr/> <p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】</p> <p>○商店・交番・茶畑で働く人、子ども110番の家の人、工事現場・図書館で働く人、公園で出会った車椅子の人やベビーカーを押している人、飲食店・駅で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <hr/> <p>【四季の変化を対比させたページ】</p> <p>○校庭</p> <p>〔上〕14-15 (春) →86-87 (冬) →108 (早春)</p> <p>〔下〕8-9 (春)</p> <hr/> <p>【相互評価・他者評価の例】</p> <p>○「はっけん自分のよいところ」で友達からの評価カードを受け取る学習活動を設定している。</p> <p>○「ありがとうをとどけよう」で、友達へのありがとうの気持ちを、カードに書く学習活動を設定している。</p> <hr/> <p>【生活のきまりや安全についての記述等】</p> <p>○「こうするといいよ」コーナーを設け、道具の安全な使い方について掲載している。</p> <p>○「がくしゅうどうぐばこ」で、身を守るために気をつけること、災害発生時の行動の仕方、探検中の安全に関する約束や情報、道具の安全な使い方、乗り物の乗り方について掲載している。</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】</p> <p>○単元名「みんななかよし」</p> <p>○見開き2ページのイラスト</p> <p>・登校中の児童生徒に地域の住民が手を振ったりほほえみかけたりしている。</p> <p>○左ページの折り返みで開くと2ページのイラスト</p> <p>・家族との団らんの様子など家庭生活のイラスト</p> <hr/> <p>【栽培単元のワークシートの例示】</p> <p>〈上〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○横書き罫線2行</p> <p>・葉が2枚の芽と、種の皮のついた芽の絵</p> <p>・タイトルと児童の思い2行</p> <p>〈下〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○横書き罫線6行</p> <p>・キュウリの苗と児童とキュウリ農家の方の絵</p> <p>・タイトルと児童の栽培への思い6行</p>	<p>【総ページ数、上下巻の構成】</p> <p>上巻133ページ(4単元) 下巻129ページ(5単元)</p> <p>○季節に沿った大単元構成で人、社会、自然を生かした一体的な流れの中で、上巻から下巻へと発展していくような構成にしている。また、活動対象への興味・関心が高まるような様々な「しかけ」のページを設けている。</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】</p> <p>○「せいかつことば」のマークを付けて見開きページ右端にコラムを設け、言語文化への理解を促している。</p> <p>○頁端のインデックスマークで、資料ページ「がくしゅうどうぐばこ」であることを表している。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】</p> <p>○見付けたことや出会った人などを報告し、カードを情報コーナーに掲示している。</p> <p>○見付けたことや活動したことを家の人に話している場面がある。</p> <p>○ポスター、掲示板の活用、ホームページなどで、多くの人への発信の例を示している。</p>

<p style="text-align: center;">11 学 図</p>	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】 (上) モルモット (下) ザリガニ ダンゴムシ キリギリス ヤゴ アリ アゲハチョウ</p> <hr/> <p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】 ○図書館・商店・消防署で働く人、福祉施設で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <hr/> <p>【四季の変化を対比させたページ】 ○公園 〔上〕50-51(春)→62(夏)→66-67(秋)→76(冬) ○「生きものずかん」 〔上〕124-125(春)→126-127(夏)→128-129(秋)→130(冬) ○「町のきせつ図かん」 〔下〕30-31(春)→32-33(夏)→34-35(秋)→36-37(冬)</p> <hr/> <p>【相互評価・他者評価の例】 ○「できるようになったこと」で、友達のよいところを「友だちのキラリ見つけたよカード」に書いて伝える学習活動を設定している。</p> <hr/> <p>【生活のきまりや安全についての記述等】 ○単元内に「ちゅうい」マークを付け、安全や衛生に関する注意を喚起している。 ○「あんぜんのページ」を設け、交通安全、防災、防犯、道具の安全な使い方について掲載している。</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】 ○単元名「がっこうたんけん」 ○見開き2ページのイラスト ・楽しそうに登校する児童やたくさんの児童が校庭で遊ぶ学校の様子を描いたイラスト ○両ページ折り込みで開くと2ページのイラスト ・登校前から帰宅後までの写真とイラスト</p> <hr/> <p>【栽培単元のワークシートの例示】 〈上〉 ○絵と文で記述 ○横書き罫線3行 ・題「あさがおにつき」横に表情マーク記述 ・種を手に持つ自分の絵 ・種を観察したときの児童の感想3行 〈下〉 ○絵と文で記述 ○横書き罫線6行 ・題「なえからそだてるよ」横に表情マーク記述 ・ミニトマトを苗から育てることになったことなどについて6行記述</p>	<p>【総ページ数、上下巻の構成】 上巻132ページ(5単元) 下巻128ページ(5単元) ○内容を「探検」「栽培」「遊び」「飼育」「成長」の5つの活動領域に整理している。各大単元はそれぞれにストーリー性をもたせ、人との交流を活動の中心とした展開にしている。また、単元で学習したことをもとに解決していく内容を単元終了後に設けている。</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】 ○「ちゅういマーク」を付け、安全・衛生上の注意を喚起している。 ○大単元の最後に、「きみならどうするマーク」で学習したことを生活に生かす活動を促している。 ○関連あるページを表示している。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】 ○地域の人(豆腐屋で働く人、畑で働く人など)に教えてもらったり、インタビューしたりしながら調べている。 ○地域の人を招いて発表会(新聞・写真などを用いて)を開いている。 ○発表会の招待状やお礼の手紙を書くように促している。</p>
<p style="text-align: center;">17 教 出</p>	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】 (上) モルモット (下) シオカラトンボ ダンゴムシ アメリカザリガニ</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】 ○単元名「わくわくどきどきしょうがっこう」 ○見開き2ページの写真 ・校庭でランドセルを背負った8名の児童 ・入学式当日の様子5枚 ・「がっこうがたのしみだね」の吹き出し ・「みんながいればぜんぶがたのしい」の記載</p>	<p>【総ページ数、上下巻の構成】 上巻120ページ(8単元) 下巻114ページ(7単元) ○上巻は第1学年、下巻は第2学年で学習することを想定した構成になっている。また、上下巻とも各単元末に自己評価する「ふりかえる」</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】 ○頁上のナビゲートラインに「ぐんぐんポケット」、関連教科及び「せいかつかノート」に関する情報が示されている。 ○右スペースに、学習のヒントを示す「はっけんひんと」、家庭連携を促す「おうちでちゃれん」</p>	<p>【伝え合う活動の例示】 ○地域の人(児童館で働く人、消防団で働く人など)にインタビューをしたり、いった場所(図書館、和菓子屋など)で仕事の体験をしたりしながら、町について調べている。 ○地域の人を招いて発表会(新聞、クイズ、実演などを用いて)を開いている。</p>

	<p>【栽培単元のワークシートの例示】</p> <p>〈上〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○横書き罫線1行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題「きれいにさいてね」</li> <li>・種の絵 色 様子</li> <li>そばに原寸大の種の絵</li> <li>・種を観察しての気づきを記述</li> <li>・種を植えた児童の思い1行</li> </ul> <p>〈下〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○横書き罫線5行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題「おいしい野さいになあれ」</li> <li>・ミニトマトの苗の絵</li> <li>・トマトの苗を観察した様子、児童の思い5行</li> </ul>	<p>の欄や学習したことを家庭や地域に広げる「おうちでチャレンジ」を設けている。</p>	<p>じ、自己評価欄「ふりかえる」及び活動上の注意点を示している。</p>	<p>○招待状やお礼の手紙を書いたり、見付けたことを家の人に話したりしている。</p> <p>○作成したポスターや感謝状を持って町に出かけ、伝え合う活動をしている。</p>	
<p>26 信 教</p>	<p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】</p> <p>○商店・駅・図書館で働く人、児童館で働く人や施設を利用する人、安全パトロールの人、交番で働く人、子ども110番の家の人、消防団の人、飲食店で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p> <p>【四季の変化を対比させたページ】</p> <p>○大木と周りの自然</p> <p>〔上〕26-27（春）→52-53（夏）→68-69（秋）→92-93（冬）</p> <p>○「のはらのカレンダー」</p> <p>〔上〕98-99</p> <p>○「たのしかったね1年生」（児童が記述したカード）</p> <p>〔上〕102-103</p> <p>【相互評価・他者評価の例】</p> <p>○「自分のすてきをさがそう」で、「○○さんすてきだね」カードを使って、友達のいいところを伝え合う学習活動を設定している。</p> <p>【生活のきまりや安全についての記述等】</p> <p>○上巻末・下巻末の「ぐんぐんポケット」には、交通安全、災害発生時の行動の仕方、防災、道具の安全な使い方を掲載している。</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】</p> <p>○単元名「いってきます」</p> <p>○見開き2ページのイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しそうに登校する児童や登校中の児童生徒に地域の住民が手を振ったりほほえみかけたりしている。</li> <li>・継続して登場する人物2人とその家族を角丸四角形で囲んだイラスト</li> </ul> <p>【栽培単元のワークシートの例示】</p>	<p>【総ページ数、上下巻の構成】</p> <p>上巻108ページ（17単元）</p> <p>下巻100ページ（14単元）</p> <p>○二人の主人公を中心とした物語性を持たせた単元展開、学校生活や行事、季節などを考慮し、児童の意識の流れに沿うように時系列の単元配列としている。また、地域に根ざした教材と直接体験を重視した単元構成にしている。</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】</p> <p>○2名の児童（挿絵）が、主人公として活動する物語性のある展開になっている。</p> <p>○各単元に表示のマークを付け、単元間のつながりを示している。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】</p> <p>○地域の人（レスキュー隊員・パン屋で働く人など）にインタビューしたり、人形浄瑠璃・囲碁などを教わったり、地域に伝わる民話を聞いたりして調べている。</p> <p>○地域の人に聞いた民話について交流している。</p> <p>○地域の人を招いた発表会（絵に描いて話す、教わったことを実演するなど）の場を設定している。</p>

	<p>【四季の変化を対比させたページ】</p> <p>○「いつものぼしょ」「さんぼみち」</p> <p>〔上〕18-23（春）→50-55（夏）→76-79（秋）→86-89（冬）→〔下〕11-14（春）</p> <p>○「きせつのうつりかわり」</p> <p>〔上〕106（春）（夏）→107（秋）（冬）</p>	<p>〈上〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○縦書き罫線8行</p> <p>・朝顔の種を観察しての気づき</p> <p>〈下〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○縦書き罫線11行</p> <p>・大豆を畑に植えている絵</p> <p>・植え方を教えてもらったことなど記述</p>				
	<p>【相互評価・他者評価の例】</p> <p>○『わたしがすること』で、家族からの評価を吹き出しの形で掲載している。</p>					
<p>38 光村</p>	<p>【生活のきまりや安全についての記述等】</p> <p>○キャラクターが吹き出しで、安全や衛生、道具の使い方に関する注意を喚起している。</p>	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】</p> <p>（上）もるもっと</p> <p>（下）ダンゴムシ アメリカザリガニ やごアゲハのよう虫</p> <p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】</p> <p>○商店で働く人、商店の客、駅で働く人・子ども110番の家の人、消防署・図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】</p> <p>○単元名「きょうからいちねんせい」</p> <p>○見開き2ページのイラスト</p> <p>・子どもたちが個々の好きな食べ物を持ち寄り、好きな動物を連れ寄り、好きな遊びをしている。次頁「みんななかよし」の互いにかかわり合って遊ぶ子どもたちのイラストにつながる。</p> <p>・「すきなものをいってみて すきなたべものはなに」「すきなあそびはなに」などの記載</p>	<p>【総ページ数、上下巻の構成】</p> <p>上巻119ページ（7単元）</p> <p>下巻103ページ（6単元）</p> <p>○各単元を「花を育てる活動」「季節に触れる活動」など、活動のまとまりごとの単元構成にしている。また、上下巻ともに視点や活動を広げるようにヒントを示したり、自ら考えることの楽しさ、面白さが実感できるように「？」を置いたりしている。</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】</p> <p>○児童の思考の流れを大切にしながら、活動を活性化することをねらって単元を3段階で構成しており、見開きに「スタート」、その後「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」のマークで示している。</p> <p>○「どうすればいいのかな」コーナーを設け、自ら考える活動を促している。</p> <p>○異文化交流を意識した写真や絵が掲載されている。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】</p> <p>○地域の人（洋菓子店で働く人、消防署で働く人など）にインタビューしたり図書館を利用しながら教えてもらったりして調べている。</p> <p>○見つけたことや出会った人などをカードにまとめ、ペアやクラス全体で交流している。</p> <p>○作成したポスターやお礼の手紙を持って町に出かけ、伝え合う活動をしている。</p>
	<p>【四季の変化を対比させたページ】</p> <p>○公園</p> <p>〔上〕46-47（春）→56-57（夏）→60-61（秋）→66-67（冬）</p> <p>○「きせつのおくりもの」（きせつのなかまたち）</p> <p>〔上〕108-109（春）→110-111（夏）→112-115（秋）→116-117（冬）</p> <p>○「きせつのおくりもの」（町）</p> <p>〔下〕96-97（春）→98-99（夏）→100-101（秋）→102-103（冬）</p>	<p>【栽培単元のワークシートの例示】</p> <p>〈上〉</p> <p>○絵と字で記述</p> <p>○罫線なし</p> <p>・朝顔の種の絵</p> <p>〈下〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○罫線なし</p> <p>・題「えだまめ」（児童の文字）</p> <p>・えだまめの絵</p> <p>・家族といっしょに食べたい児童の思い2行</p>				
	<p>【相互評価・他者評価の例】</p> <p>○ステップ「もつとにこにこをふやしたいな」で、家族の感想を聞いて、作戦を立てるよう促したり、家族からの評価を「にこにこさくせんほうこくしょ」で掲載したりしている。</p>					

	<p>【生活のきまりや安全についての記述等】 ○「！」マークを付け、安全や衛生、道具の使い方に関する注意を喚起している。</p>				
61 啓林館	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】 メダカ・フナ・タナゴ サワガニ・カニ ダンゴムシ・アリ・バッタ ナナホシテントウ・ナミテントウ コオロギ・スズムシ カブトムシ・クワガタ・よう虫 おたまじゃくし アゲハのよう虫 モンシロチョウのよう虫 カタツムリ オンブバッタ クツムシ ウマオイ マツムシ</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】 ○単元名「いちねんせいになったよ」 ○見開き2ページのイラスト ・桜と校舎を背景にランドセルを背負って登校してきた2名の児童（継続して登場） ・学校生活の4場面（授業、遠足、水泳、運動会）</p>	<p>【総ページ数、上下巻の構成】 上巻 133 ページ（10 単元） 下巻 125 ページ（8 単元） ○上下巻は2年間の季節の移り変わりをベースに、上巻は「学校と生活」、下巻は「地域と生活」をテーマにした単元構成にしている。また、上下巻の巻末資料のうち、野外に関するものを別冊にも掲載している。 ※別冊「せいかつたんけんブック」49 ページ</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】 ○気付きの明確化をねらい、単元を導入の「わくわく」・主活動の「いきいき」・交流活動の「つたえあおう」・広げて深める「ちゃれんじ」の4段階で構成しており、左上にマークが表示されている。 ○キャラクターが、児童に活動や思考を促したり、活動上の注意を喚起したりしている。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】 ○地域の人（和菓子屋で働く人、図書館で働く人など）にインタビューしたり教えてもらったりして調べている。 ○地域の多様な人（幼児や高齢者など）を招いて発表会を開いている。 ○作成したポスターやお礼の手紙をもって町に出かけ、伝え合う活動をしている。</p>
	<p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】 ○商店で働く人、農家の人、消防署・駅・図書館で働く人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>【栽培単元のワークシートの例示】 〈上〉 ○絵と文で記述 ○罫線なし ・題「せんせいあのね」 ・種の様子、児童の思い2行 〈下〉 ○絵と文で記述 ○横書き罫線5行 ・題「ミニトマトをうえました」カード（「」の中は児童の文字） ・ミニトマトの苗を植えたこと、児童の思い3行</p>			
	<p>【四季の変化を対比させたページ】 ○校庭 〔上〕20-21（春）→54-55（夏）→82-83（秋）→96-97（冬） ○公園 〔上〕44-45（春）→84-85（秋） ○町 〔下〕26-27（春）→32-33（夏）→64-65（秋）→72-73（冬）</p>				
	<p>【相互評価・他者評価の例】 ○「できるようになったこともたくさんあるね」で、「友達のすごいところカードを書いて、わたしてあげよう。」とキャラクターが活動を促している。また、カードや吹き出しでお互いのよさを教えている様子を掲載している。</p>				
<p>【生活のきまりや安全についての記述等】 ○上巻末に「わくわくずかん」、下巻末に「いきいきずかん」、別冊「せいかつたんけんブック」を設け、道具の安全な使い方、探検に関する安全、交通安全、乗り物の乗り方、自分の身の守り方、災害発生時の行動の仕方について掲載している。</p>					

116 日 文	<p>【住みか及び飼育方法が示されている生き物】</p> <p>ハムスター ザリガニ カブトムシ やご（トンボ） あおむし（モンシロチョウ） ダンゴムシ カタツムリ メダカ おたまじゃくし（アマガエル）</p>	<p>【上巻最初の単元の導入ページの内容】</p> <p>○単元名「いちねんせいになったら」</p> <p>○見開き2ページのイラスト</p> <p>・上級生と登校の5名の児童，授業風景，笑顔で花壇の周りを走っている2名の児童</p> <p>○継続して登場する6名の児童と教師の写真およびイラスト</p> <p>・「みんなともだちだよ。よろしくね。」の記載</p>	<p>【総ページ数，上下巻の構成】</p> <p>上巻138ページ（9単元）</p> <p>下巻132ページ（6単元）</p> <p>○上下巻それぞれに主人公を設定し，ストーリー性を持たせた展開としている。また，生活科の目標に照らした構成，多様な対象と出会い，かわり，関心や意欲を高めながら追究していく構成にしている。</p>	<p>【キャラクター・マークの工夫】</p> <p>○同じ人物（写真・挿絵）が繰り返し登場し，活動する物語性のある展開になっている。</p> <p>○ワンポイント・アドバイスを「青マーク」，安全面やマナー面を「赤マーク」，活動の広がりや「緑マーク」で表示している。</p> <p>○異文化交流を意識した写真や絵が掲載されている。</p>	<p>【伝え合う活動の例示】</p> <p>○地域の人（パン屋で働く人・図書館で働く人など）にインタビューしたり体験したりして調べている。</p> <p>○地域の人を招いて発表会（地図・新聞・体験コーナーなどを用いて）を開いている。</p> <p>○作成したポスターやお礼の手紙を持って町に出かけ，伝え合う活動をしている。</p>
	<p>【地域で生活したり働いたりしている人々と児童がかかわる写真】</p> <p>○商店で働く人，商店の客，図書館で働く人，お茶の作法を教えている人と児童がかかわる様子を写真で掲載している。</p>	<p>【栽培単元のワークシートの例示】</p> <p>〈上〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○罫線なし</p> <p>○虫眼鏡内に絵を描く</p> <p>・題「よくみてみよう」</p> <p>・あさがおの種の絵</p> <p>・実物を貼る</p> <p>・種を観察しての気づきを記述</p> <p>〈下〉</p> <p>○絵と文で記述</p> <p>○横書き罫線5行</p> <p>・題「はたけ」ニュース（「 」の中は児童の文字）</p> <p>・みんなで畑を耕したことなどを記述5行</p>			
	<p>【四季の変化を対比させたページ】</p> <p>○「きせつだより」</p> <p>〔上〕126-127（春）→128-129（夏）→130-131（秋）→132-133（冬）</p> <p>○「もっとさんぽにいきたいな」（児童が記述したカード）</p> <p>〔上〕98-99</p> <p>○「きせつのちがいをさがしてみよう」</p> <p>〔上〕100（春）（夏）→101（秋）（冬）</p>				
	<p>【相互評価・他者評価の例】</p> <p>○「町のじまんはっぴょう会」で「友だちおうえんカード」による相互評価を掲載している。</p>				
	<p>【生活や安全についての記述等】</p> <p>○巻末「なんでもずかん」に，交通安全，防犯，防災，災害発生時の行動の仕方，道具の使い方，乗り物の乗り方に関する情報を掲載している。</p>				